

## コウバコガニ「輝姫(かがやきひめ)」 寒ブリ「煌(きらめき)」



この度、石川県漁協は雌ズワイガニの「コウバコガニ」と能登寒ぶりに特別ブランドを設けました。コウバコガニは「輝姫(かがやきひめ)」、寒ブリは「煌(きらめき)」と命名。「輝姫」は甲羅の幅が9.5センチ以上、全ての脚が揃っていて、傷などなく色が美しいもの。「煌」は12月から翌年1月までに水揚げされたもので14キロ以上、傷が無く、胴回りが十分であることなどが基準となります。かなり厳しい基準を設けることで全国的な話題となればと期待しています。

## 養殖ブリ、需要期に品薄か

これからの繁忙期、季節商材の養殖ブリが品薄になる可能性があります。幼魚のモジャコが不漁で今期の出荷対象尾数が少ないこと、餌代や諸経費も増加傾向にあり、浜値が上昇していることなどが要因として挙げられます。そんな状況に加え、ブリフィレの輸出量は前年同月比で3割増。数量、金額とも過去10年の同期比較で最高を記録しているそうです。「米国では多少の値上げでも躊躇せず、購入する。養殖ブリの対する価値観が日本と違う。」という。ここにも円安の影響が出てきており、今後の国内供給動向に注視が必要です。



## 入荷状況&商品情報

10、11月
甘エビ
◎ブリ
◎ガスエビ
ササカレイ
メギス
◎アオリイカ
アマダイ
ノドグロ
ミズウオ
◎ベニズワイガニ



**底引き網漁**の解禁後は天候次第ですがまずまずの入荷状況です。

アマエビ、ガスエビ、カレイ類、メギスも潤沢に入荷。アオリイカもこれから魚体も大きくなってきます。水温の低下に伴ってブリ類の品質も上がってきました。ブランド化推進中の「金沢甘えび」は潤沢に入荷中です。中でも粒が大きく、鮮度が良い「プレミア」はおすすりめです。「プレミア」大きさもさることながら、最終の網で漁獲された一番鮮度の良いものとされており、評判も上々です。